

私だけの名峰？

頸城

銚ヶ岳

笹川

【日時】 2010年4月17日(土)～18日(日)

【メンバー】 L小暮、野村、笹川

銚ヶ岳はカニ山行で通るたびに毎回気になり、そのたびに行きたいと言っていたが、誰も乗ってくれなかった。今回はリハビリカニ山行ということで小暮リーダーが計画を立ててくれた。

■4月17日 曇り

いつものように前夜能生駅で仮眠後、道の駅へ移動して海産物を買込んだ。今回は少し時期が遅いようで陳列品がいつもとは違ったが、お目当ての白ゲンゲは調達できた。

島道鉱泉に車を泊めて出発。夏道はあるようだが、どうも分かりにくい。途中からハッキリした道となったが、脇からロープが見えたのでそこから尾根に上がる。沢沿いにはかたくりが咲いていてかわいらしい。

今日は膝の調子が悪く、一步一步がいちいち痛むのでゆっくり二人について行った。

雪崩の心配もないので沢を詰めていく。水音を気にしながら歩いていると雪の中から沢を発見。水を取ることができた。

そこから少し上がった尾根にテントを張り、風があるので簡単にテント脇にブロックを積んだ。外でポカポカ陽気の中カニを頂く予定だったが、気温が下がってきたので早々にテントの中で宴会することにした。

ドロエビの刺身・ゲンゲ汁・茹でガニ・アンコウ鍋と少しの山菜で、今年も海産物を堪能。

夜は風が強まったが、ブロックのおかげで快適に眠ることができた。



カニとドロエビで乾杯♪

■4月18日 晴れ

今日はほぼ快晴のアタック日和だ。まずは金冠を目指し尾根を上がっていくと真っ白の雪面に続く熊の足跡を発見。すると隣の尾根に4本足で動く黒い・・・熊が歩いていた。

こっちには来てくれるなど思いながら、金冠の下まで熊のトレースを辿ることになった。金冠の下は雪のつき方が悪かったので、小暮がステップをきりながら先を行ってくれた。その後、鎖や木を掴みながら登ると金冠に到着。権現岳の独標が良く見える。

ここから緩い尾根を上がっていくと銚ヶ岳の山頂にある小屋に到着。頸城の山々と日本海が見渡せて最高だ。小屋にあるノートに登頂の記録を残し下山開始。帰りは金冠を東側から巻いて降りた。

テントを撤収して、1時間ちょっとで島道鉱泉に到着。帰る準備をしていると島道鉱泉のおばさんが昨日帰って来なかったので心配していたと話しかけてくれた。しかもお風呂は沸かしてあるという。鉱泉なので温いだろうと思っていたら熱湯風呂になっていた。数年前に石井さんに連れて来てもらったが、やはり落ち着く良い温泉でした。



金冠から銚ヶ岳へ

銚ヶ岳はただ行くには物足りないかもしれませんが、カニ山行は調度良い山です。私の名峰は予想通り、楽しませてくれました。

【行程】 4/17 島道鉱泉(10:20)～BC (13:10)

4/18 BC(6:30)～金冠(8:05)～銚ヶ岳(9:00/25)～BC(10:30/11:00)

～ 島道鉱泉(12:15)

【地図】 榎



銚ヶ岳山頂



銚ヶ岳からの下り